

拠点

拠点 3 嬉泉福祉交流センター 袖ケ浦

1. 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

1) 拠点全体

袖ケ浦ひかりの学園増改築事業は、「入所者のQ.O.L.向上」「高齢化対応」「地域支援の拡充」という3つのコンセプトの下で、完全個室化及びバリアフリー化された「生活棟の増築」、医務、厨房、整理室の拡張による居住サービス強化としての「既存スペースの改修」、生活介護(通所利用対応部分)及び短期入所希望者の増加に応じて専用スペースを設ける「地域支援棟の新築」の3工事事業が昨年度より着工し、工事がほぼ完了した。現在、最後の「既存スペースの改修」が進行中である。

前年度は離職者が増えてしまったが、今年度はほぼ横ばい状態である。やはり、利用者の生活を24時間に渡り支えていく入所という形態は、業務量の複雑さや多さなどが原因として考えられる。キャリアパス制度を今年度は導入したが、まだ活用しきれていない部分があり、この制度を利用することで業務へのやりがいを再確認できるようにしていく必要がある。

また、今年度は台風被害など想定していない事態が発生し、今までの備えでは補うことが出来ないものもあり、今後の検討課題としたい。

2) 袖ケ浦のびろ学園

年度内の新入園児は、6名(措置2名、契約4名)であった。家庭や学校と連携を取り、学校生活への適応や家庭帰宅の調整を個別に行い、学園だけではない本人の社会生活を維持する中での入所施設支援体制をとった。自閉症児施設の専門性を求める入所と養護性の欠如による措置入所という近年増加傾向にある新たなニーズに対応するため、児童相談所との連携を密に図りながら支援を行った。一方退所児は高等部卒業生9名であった。移行先は、障害者支援施設2名、グループホームへ移行し日中生活介護利用1名、家庭引き取りにて生活介護利用2名、当園で入所施設への移行待機による短期入所利用2名、他の障害者支援施設で入所待機待ちにての短期入所利用2名となった。千葉県内、東京都内では行動障害を有する児童の受け入れが難しく、比較的受け入れが容易な地方を選択せざるを得ない状況が続いている。入所児については引き続き、千葉県からの入所数が東京都からの入所数を上回る傾向にあった。入所支援に求められるニーズは、行動障害に対する支援が高く、重度傾向と共に、生活環境に配慮が必要な個別的な対応と個室化が求められた他に、入所児童の高年齢化、すなわち思春期を迎えた時期(中学から高等部)の入所ニーズの増加が見られ、入所児全体の57%(37名中21名)を高校生が占めた。これに対し支援環境の少人数化と居住環境、日課の調整、利用者の個人ニーズに対応した支援を行う事で生活支援の充実を図った。

地域に在宅の利用者や、袖ケ浦のびろ学園を退園した利用者の地域生活並びに家庭への支援として、短期入所事業を実施した。今年度は成人1567日、児童483日、合計2050日の支援を行った。また、東京世田谷の本法人の事業所、こぐま学園やおおらか学園からも短期入所の利用を受け入れ、法人における地域支援体制を継続させた。さらに、通常の短期入所利用に加えて、合宿形式の体験や休日利用のレスパイトなど施設機能の活用を行った。

3) 袖ケ浦ひかりの学園・グループホーム春のひかり

28年度より、施設建物の増改築に向けて検討委員会を実施し、保護者との意見交換会や職員を交えての検討を重ね、建設に着工し、2019年度夏に新棟が完成した。新棟への移動にあたり、グループ編成を変更し、今までの3グループ体制から4グループ体制とし、8月ごろより居室の移動を始めた。グループを再編成した8月の移動の後、9月に台風19号による施設そ

のものへの被害が重なり、落ち着かない日々となってしまったが、11月ごろには落ち着きを取り戻し、生活が安定したものへと変化していった。今回の新棟建設に伴い、利用者全員の個室化が整備された。その事と2グループが15名程度の利用者配置となったことで、学園全体を通して穏やかな空間が出来てきている。今回の新棟建設に伴い、利用者一人一人の空間が確保されたことによる、安心感は大きいものであると思われる。ただ、新棟建設における検討不足があり、その事による追加や変更工事、新棟建設後に予定していた旧棟の工事などに時間がかかり、2020年度春の時点においても、工事が継続中である。そのことによる利用者の生活、および職員の負担感は継続しており、早急に改善していきたいと考える。

ここ数年利用者の高齢化（平均約51歳）に伴う怪我や疾病が増加し続けており、ほぼ毎日のように通院をしている状態である。特に、転倒などによる骨折や打撲が多く見られるようになってきている。職員が配慮しても防ぐことが難しいものがあり、中でも移動に伴う転倒については配慮が難しく、またその場面を確認ができないこともあり、対策としては共有スペースにおける安心カメラの導入が望ましいと考える。そのことで原因の発見、加えてそれに対しての対策を講じることが出来ると思われる。

利用者の日中活動においては「ひかりの工房」として選択的作業体制を維持した。利用者にとって作業の場が自信を回復する機会となり、達成感や充実感を得られる場となっているのは確実であるが、やはり年齢に伴う老化現象を最小限にするためにも、体力維持を目的とした活動へと変換していく時期に来ていると思われる。

生活介護事業のみ利用している「きずなグループ」の運営も継続した。実際にきずなグループを利用する利用者の多くは他の事業所では受け入れられず、学園においてもある程度の配慮や、経験に基づく支援が必要である。その為保護者であっても外出の付き添いをすることは難しく、日中活動の中での外出活動への期待の大きさが感じられた。

グループホームでは今年度より基本全員で行っていた旅行を2グループに分けて実施した。個々の目的や楽しみになるべく答えていくこと、それに加えて年齢的に配慮が必要になり、集団での行動は難しくなっているのが現状である。引き続き、地域参加の意味も含めて、地域の防災訓練に利用者支援員と共に参加した。

4) 地域生活支援センターたのしみ

袖ケ浦市指定による「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」及び、千葉県指定による「一般相談支援事業」の指定を受けて事業を行った。また、袖ケ浦市から袖ケ浦市社会福祉施設等連絡協議会が受託した市の障害者相談支援事業に相談員を派遣し、地域の障害児（者）への支援を行った。

児童発達支援事業については、袖ケ浦市や木更津市の子育てサポートセンターから紹介されるケースが増え、1月には袖ケ浦市の後援を受け「発達相談会」を企画実施し事業所の存在がさらに認識されるようになった。袖ケ浦市や木更津市の保育所などの巡回訪問を積極的に行い、発達が気になる幼児への対応の仕方等アドバイスを行った。また、就学前に適切なサポートが実施できるよう袖ケ浦市の要請を受け年長児童を対象に言語聴覚士による言語の発達検査を行った。

放課後等デイサービスは、楨の実特別支援学校・君津特別支援学校・市原特別支援学校・長浦小学校・昭和小学校・奈良輪小学校・蔵波小学校の児童が利用した。平日は1日当たりの定員を超える日が増え、祭日や週末の利用は他事業所での受け入れが困難な児童の受け入れを積極的に行った。

5) 袖ケ浦市福祉作業所うぐいす園

利用者との関係性を深め、利用者自身が意欲をもって通所することが出来る場となるように努めた。利用契約者はどちらの事業においても増加している。しかし、就労継続支援B型事業においては、30年ほどの前より継続して通所している利用者があることで、全体的な高齢化が見られ、そのことによる生活環境の変化を余儀なくされるケースが出てきている。そのため、利用者が増えてはいるが、総数としては変わらない状態が続いている。

。しかし、次年度においては高等部卒業後の移行先として2名の利用が決定している。指定管理を受諾して大きな課題であった、高等部卒業後の移行先としての選択肢に含まれるようになってきたと思われる。

生活介護事業については新規利用者に加え、就労継続支援事業からの変更もあり、年々増加している状況である。おそらく2020年度には定員12名をほぼ毎日上回る状態になると思われる。活動については散歩、余暇活動、作業を中心に行っている。作業活動に関しては、作業内容がかなり変化するものをこちらが選んでおり、そのことに対する適応力、また取り組み方の工夫を支援側が検討する良い機会となっているように思われる。それともう一つの軸として、身体に障害を抱えている方を中心に、動作法を取り入れた活動を実施した。

家庭の事情から短期入所利用のニーズも増えてきており、袖ヶ浦ひかりの学園の利用へと繋がった。袖ヶ浦ひかりの学園と連携して支援が出来るという安心感で、更なる新規の利用希望が増え、現在では毎日2名から3名の利用希望があるような状況である。希望者も控えており、今後はさらに短期入所の利用が拡大していく見込みである。

今年度は指定管理を受諾して満5年となり、一期目の終了となった。次年度からの2期目も更新することが決定した。更新に関しては市における協議と家庭へのアンケート調査の結果ということである。

2. 年間行事等実施状況

※別紙1「年間行事等実施状況」参照

3. 職員体制

※別紙2「組織図」参照

4. 職員研修

1) 方針(再掲)

事業が拡大し、それに伴い拠点、職員が増加、業務内容も多岐に渡るようになった。その一方で職員同士の交流や他事業所への理解が希薄になりやすい状況とも言える。

そのため人材育成及び既存の研修内容も事業所や各業務に共通するものと特化すべきものを見極めながら法人としての研修から事業所ごとの研修まで幅広い視野での研修の最構築あるいは新規研修の企画、推進が必須である。

2) 事業所内研修

①受容的交流理論に基づく対人援助の知識や技術を高める

- ・夏季療育合宿(8/17~19)への参加・・・参加支援員3名、研修係1名
- ・冬季療育合宿(12/21~23)への参加・・・参加支援員3名、研修係1名
- ・法人職員全体研修(2/8)への参加・・・48名

②新人職員の育成

・新人職員に対し、主にサブリーダー以上の役職に就く職員がチューターとして1年間付き、新人の育成に取り組んだ。

・4/1に、新人職員向けの研修として、事務説明、非常用電源等の説明、発作・AED講習、環境整備等の説明、マナー講習を実施した。

③法人事業所間の交流研修への参加

他事業所の行事(赤塚福祉園祭)に1名参加し、事業所間交流を行った。

④心のケア(抱っこ法)研修を通して感性や援助技術の向上に努める

合計5回、新人研修を実施した。6/18、9/3、11/5、1/14、3/17

⑤拠点内全体研修の実施

- ・阿部秀雄先生にSVをお願いし、9/5にケース研究発表会を実施した。
- ・全体研修会を2回実施した。

テーマ：支援者にとって大切な視点(5/14)、「障害者虐待防止法の理解と対応」「安全確保の為の行動制限についての研修」(2/13)

・エピソード記述研究会を5回実施。責任者クラスの職員を中心に11名の構成メンバーで行った。

・プール講習の実施

7/19にプールでの事故防止、救助法獲得のため日本水泳連盟所属で法人嘱託職員である三輪謙講師の下、新人、異動職員を対象に講習を行った。参加職員11名、研修係2名。

⑥各職種に必要となる知識を高める

- ・千葉県知的障害者福祉協会児童部会学習会に派遣・・・支援員2名
- ・千葉県知的障害者福祉協会障害者支援スタッフ部会に派遣・・・支援員3名

3) 外部研修

出張・研修名	主催	参加人数	日時	開催地
地域支援部会総会 強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	千葉県知的障害者福祉協会 ホットラインワールド	1名 3名	4月12日(金) 5月21日・28日	ホテルオークラ千葉 かずさアカデミアホール
地域支援部会総会 強度行動障害支援者養成研修 (基礎) 強度行動障害支援者養成研修 (実践)	千葉県知的障害者福祉協会 ホットラインワールド ホットラインワールド	1名 3名 5名	4月12日(金) 5月21日・28日 6月18日・25日	ホテルオークラ千葉 かずさアカデミアホール かずさアカデミアホール
支援スタッフ部会代表者会議	千葉県知的障害者福祉協会	2名	4月4日(木)	千葉市民会館
千葉県知的障害者福祉協会 広報委員	千葉県知的障害者福祉協会	1名	5月1日(水)	ふる里学舎
権利擁護委員会「虐待防止及び 身体拘束廃止」につなげる紅葉 行動分析の基礎を学ぶ研修	千葉県知的障害者福祉協会	2名	6月5日(水)	千葉市民会館
2019年度千葉県知的障害者福祉協会 定期総会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	5月8日(水)	ホテルグリーンタワー
新任職員研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	6月18日・19日	鴨川ホテル三日月
強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	生活サポート千葉	3名	6月28日・7月1日	千葉県教育会館・ふる里学舎
強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	ホットラインワールド	1名	6月6日・7日	千葉県文化会館
令和元年度強度行動障害支援 アドバンス研修	東京都社会福祉協議会	1名	6/28 7/23 8/22 9/19 10/17 11/21 12/19	各々
令和元年度千葉県相談支援従事者 初任者研修	千葉県健康福祉部	1名	7/2～7/4 他2日	千葉県文化会館 千葉県教育会館
2019年度知的発達障害部会総会	東京都社会福祉協議会	1名	5月22日	四谷区民ホール
2019年度発達障害支援スーパーバイザー 養成研修 アドバンスコース	日本自閉症支援者協会	4名	7月13日(土) 7月14日(日) 事例検討会	ワイム貸会議室・お茶の水
2019年度発達障害支援スーパーバイザー 養成研修 ベーシックコース	日本自閉症支援者協会	1名	7月13日(土) 7月14日(日) 実務研修5日	ワイム貸会議室・お茶の水
施設見学「社会福祉法人武蔵野 わくらす武蔵野」		2名	6月12日(水)	わくらす 武蔵野
施設見学「社会福祉法人 まごころ 多機能事業所 ビーアンビシャス」		6名	6月11日(火)	社会福祉法人 まごころ
サービス管理責任者指導者養成 研修	千葉県障害福祉部	1名	6月12日(水) ～14日(金)	国立障害リハビリテーションセンター学園

君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会「設置者・管理者会」および総会	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	6月17日(月)	君津健康福祉センター
令和元年度 全日本自閉症支援者協会総会	全日本自閉症支援者協会	5名	7月21日(日)	ビジョンセンター横浜
会計基礎実務研修	東京都社会福祉協議会	1名	7月22日(月) ～24日(水)	駿河台記念館
令和元年度 全国知的障害関係施設長等会議	日本知的障害者福祉協会	7名	7月22日(月) 23日(火)	パシフィコ横浜
東社協 知的発達障害部会施設体験研修	東京都社会福祉協議会	1名	8月6日(火) 8日(木)	大沢にじの里
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	ホットラインワールド	2名	9月2日(月) 3日(火)	木更津 かずさアカデミアホール
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	生活サポート千葉	2名	9月6日(金) 9月10日(火)	千葉市民会館 ふる里学舎
子どもルーム・放課後等デイサービスにおける発達障害のある子どもの理解と支援の実践	植草学園	1名	7月11日(木)	植草学園短期大学
千葉県相談支援事業協会総会・勉強会・懇親会	一般社団法人 千葉県相談支援事業協会	1名	7月12日(金)	千葉市ハーモニープラザ
令和元年度第二回君津圏域包括ケアシステム実務者会	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	1名	7月30日(火)	君津健康福祉センター
てんかん基礎講座	日本てんかん協会	1名	8月1日(木) 8月2日(金)	ベルサール汐留
全国グループホーム等研修会	日本知的障害者福祉協会	1名	8月29日(木) 8月30日(金)	東京ベイ幕張
千葉県相談支援従事者初任者研修(講師)	千葉県健康福祉部	1名	8月26日(月) 8月27日(火)	千葉県教育会館
特定処遇改善加算についての行政説明会	千葉県社会就労センター	1名	8月19日(月)	千葉商工会議所
チームリーダー研修	東京都社会福祉協議会	1名	10月31日(木) 11月1日(金)	東京都社会福祉保健医療研修センター
障害福祉サービス経営セミナー	独立行政法人 福祉医療機構	1名	10月11日(金)	全社協 灘尾ホール
働き方改革関連法 同一労働同一賃金セミナー	千葉県労務局	1名	10月18日(金)	千葉県教育会館
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	ホットラインワールド	3名	10月22日(火) 10月23日(水)	千葉県文化会館
気になる子供の理解と支援	木更津市健康こども部	1名	10月11日(金)	木更津市民総合福祉会館
東社協知的発達障害部会 通所施設文化会 第1回合同学習会	東京都社会福祉協議会	1名	9月6日(金)	東京都左官工業協同組合
令和元年度給食施設管理者研修会	千葉県君津健康福祉センター	2名	10月1日(火)	千葉県君津健康福祉センター
千葉県こどものリハビリ多職種勉強会	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1名	10月19日(土)	千葉県千葉リハビリテーションセンター
令和元年度障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者研修)	千葉県庁	1名	10月21日(月)	千葉県教育会館 501

令和元年度障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者研修）	千葉県庁	1名	11月19日（火）	千葉県千葉リハビリテーションセンター
令和元年度障害者虐待防止・権利擁護研修（マネージャー研修）	千葉県庁	2名	10月29日（火）	千葉県教育会館 501 千葉県教育会館 飯田橋セントラルプラザ
令和元年度障害者虐待防止・権利擁護研修（マネージャー研修）	千葉県庁	1名	10月1日（火）	千葉県教育会館 501
認知症セミナー	千葉県社会福祉事業団	1名	10月4日（金）	千葉県教育会館
知的発達障害部会 生活の中の医療を考える	東京都社会福祉協議会	1名	10月19日（土）	飯田橋セントラルプラザ
SV研修 ベーシックコース実務研修	日本自閉症支援者協会	1名	11月11日～15日	しもふさ学園
2019年度 新任職員（転職）研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	11月21日（木）	ふる里学舎 蔵波
全日本自閉症支援者協会研究大会（埼玉大会）	全日本自閉症支援者協会	8名	11月7日～8日	川越プリンスホテル
児童発達管理責任者基礎研修	千葉県健康福祉部	1名	11月14日 1月27日、28日	千葉市民会館 千葉県教育会館
社会福祉施設に係る労働災害防止及び労務管理講習会	木更津労働基準監督署	1名	10月28日	かずさ建設会館
新任職員（転職）研修	千葉県知的障害者福祉協会	2名	11月21日（木）	ふる里学舎 蔵波
スタッフ支援部会	千葉県知的障害者福祉協会	2名	11月19日（火）	千葉県総合スポーツセンター
サービス管理責任者会（GH）	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	11月8日（金）	君津健康福祉センター
第2回 知的障害者の意思決定支援と成年後見人制度に関する委員会	日本知的障害者福祉協会	1名	11月22日（金）	日本知的障害者福祉協会会議室
2019年度全日本自閉症支援者協会・関東ブロック研修会	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	5名	12月14日（土）	清瀬育成園ひだまりの里きよせ
袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会 視察研修	袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会	7名	11月1日～2日	高水福祉会
東京都千葉福祉園 福祉セミナー	東京都千葉福祉園	1名	12月13日（金）	東京都千葉福祉園
スタッフ支援部会 広報委員会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	12月5日（木）	千葉県知的障害者福祉協会
ピアの話、聞いてみて！ 退院支援・自助・雇用の立場で活躍するピア	千葉県精神障害者自立支援事業協会	1名	12月11日（水）	木更津病院
調査研究委員会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	2月10日（月）	大久保学園 みどり園
メンタルヘルス講座 感情とストレスをマネジメントする	東京都社会福祉協議会	1名	3月9日（日）	東京都社会福祉保健医療研修センター
支援の原点と意味 了解的アプローチ	アイ・サポート研究所	1名	12月21日（土）	大阪府教育会館
令和元年度千葉県相談支援従事者専門コース研修	千葉県	1名	1月20日（月） 1月30日（木）	千葉市民会館 千葉県文化会館
主任相談支援専門員養成研修	千葉県	1名	12月9日（月） ～ 12月13日（金）	戸山サンライズ

公正採用選考人権啓発推進員等研修会	木更津公共職業安定所	1名	2月19日(金)	木更津市立中央公民館
Face To 福祉 スタートアップセミナー		1名	1月17日(金)	FUKURACIA 品川(長田ビル)
発達障害者の支援について(GH研修会)	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	2月14日(金)	君津健康福祉センター
2019年度4団体共催研修会講演「大災害に備えて～体験から学ぶ～」	東京都知的障害児者生活サポート協会	1名	2月11日(火)	ハイレイフプラザいたばし(板橋区)
第3回支援困難事例検討会事例検討会事例を通して支援者としての在り方を考える	東京都発達障害者支援センター	1名	1月29日(水)	東京都社会福祉保健医療研修センター
年金委員事務研修会	日本年金機構	1名	2月3日(月)	木更津市民会館
施設長研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	2月28日(金)	鴨川グランドホテル

5. 実習生等の受入状況

① 実習生の受入(総数：40名)

名 称	人数(人)
淑徳短期大学	2
東京福祉大学	4
横浜こども専門学校	2
東京リゾート＆スポーツ専門学校	2
聖徳大学	2
東京都市大学	1
清和短期大学	2
淑徳大学	3
十文字学園女子大学	6
立正大学	2
YMCA 専門学校	1
東洋大学	2
武蔵野大学	2
東京家政大学	7
和洋女子大学	2

②

知的障害者関係施設及び学校からの研修生(総数：7名)

名 称	人数(人)
槇の実特別支援学校	1
君津特別支援学校	1
金田小学校	1
シャロームみなみ風	2
日の出福祉園	1
石山センター	1

③ 見学者の受入(総数：55名)

名 称	人数
短期入所希望者	3

入所希望者	5
施設見学者	6
槇の実特別支援学校	25
青島特別支援学校	2
しいのみ園	1
豊岡厚生園	3
目黒障害者相談センター	6
あおいの杜	4

④ ボランティアの受け入れ(総数：延べ 34 名)

活 動	所属等	人数(人)	頻度等(日)	区 分
夏祭り手伝い	—	11	1	しいの木特別支援学校

6. 福利厚生

①定期健康診断(年 2 回)

対 象：全職員(深夜勤に当たっていない者は年 1 回)

実 施：1 回目 2020 年 11 月 7 日

2 回目 2021 年 2 月 5 日(夜勤対象直接支援職員)

実施人数：1 回目 51 名

2 回目 52 名

場 所：学園内(ちば県民保健予防財団検診車)

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、胸部測定、ウロビリノーゲン測定、尿潜血測定、尿糖測定、尿蛋白測定、心電図、便潜血測定、肝機能測定、腎機能測定、脂質測定、炎症測定、貧血測定、糖尿病測定

備 考：生活習慣病予防検診の対象者は、1 回をそれに含める。

②生活習慣病予防検診(年 1 回)

対 象：35 歳以上の職員(希望者は 30 歳から)

実 施：2020 年 9 月 24 日、25 日、26 日

実施人数：70 名

場 所：学園内(ジェイコー千葉病院)

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、心電図、検便、検尿、血液検査〔貧血・生化学検査〕脂質、肝機能、胃部レントゲン、胸部レントゲン、身体測定(腹囲、BMI 含む)、乳癌・子宮癌検査(希望者のみ)

備 考：日帰り人間ドックの対象者は、それに含める。

7. その他

なし

1. 10カ年のアクションプラン※網掛けは一部改訂および新規項目

1) 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応

- ①「はやて棟」の用途変更（ひかりの→のびろ） ※実施済み
- ②のびろ大規模修繕 ※実施済み
- ③のびろ支援員の研修（高機能、知的に軽度な発達障害への療育） ※継続中

2) 入所者の高齢化への対応

- ④ひかりの本体（そだて）改修、増築 ※平成30年度実施予定※実施済み
- ⑤ひかりの利用者グループ再編※実施済み
- ⑥ひかりの支援員の研修（介護技術・メンタル・SV体制） ※継続中

3) 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充

- ⑦「児童発達支援センター」の整備（相談支援の併設） ※実施済み
- ⑧のびろ利用定員の変更（50名→40名＋短期併設10名） ※実施済み
- ⑨ひかりの「地域支援棟」の整備 ※実施済み
- ⑩グループホームの移設及び増設
- ⑪袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み
- ⑫たのしみ中高生の放課後デイ実施 ※実施済み
- ⑬袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新※実施済み
- ⑭児童発達支援センターの機能拡充
- ⑮地域生活支援センターたのしみの再編成
- ⑯地域生活支援拠点の整備※実施済み
- ⑰ひかりの学園短期入所の定員拡大※実施済み
- ⑱のびろ学園短期入所棟の整備

2. 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応

- 1)「はやて棟」の用途変更（ひかりの→のびろ） ※実施済み

- 2) のびろ大規模修繕 ※実施済み

3) のびろ支援員の研修（高機能、知的に軽度な発達障害への療育） ※継続中

児童福祉法改正前は、第2種自閉症児施設として、重度の自閉症児（主に強度の行動障害を示す児童）を対象に支援してきた為、近年社会的なニーズとしても高まりつつある、知的に軽度な発達障害児に対しての支援に苦慮している現状がある。また、本人の問題のみならず、家庭環境(成育歴)や保護者自身も知的・精神障害を抱えているケースもみられ、トータル的な支援の必要性に迫られている。

まずは、法人内の他事業所との交流研修や実習を通して、スーパービジョンを受ける中で支援技術の向上につなげる。また、外部の研修などにも積極的に参加をすすめ、幅広い視点を養っていきたい。

3. 入所者の高齢化への対応

- 4) ひかりの本体（そだて）改修、増築 ※実施済み→既存棟の整備に関しては継続中
現在継続して行っている工事は食堂、厨房とひかりの玄関の工事のみ。

- 5) ひかりの利用者グループ再編 ※実施済み

- 6) ひかりの支援員の研修（介護技術・メンタル・SV体制） ※継続中

高齢化に向けては、介護技術の研修や資格取得などはもちろんのこと、他の高齢施設職員の意見を聞き、研修や施設整備に繋げていく。

保護者や利用者自身が亡くなったり、それに向けて見守っていったりなどの、ひかりの職員が未だ経験していない事態に対する備えとしての研修や、そのストレスに対するメンタル面への研修なども取り入れていく。

日々の業務の中で、療育ルームなどを使い、こぐま学園のようなSVを受けるなどの研修も行っていく。

4. 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充

- ~~7) 児童発達支援センターの整備（相談支援の併設） ※実施済み~~

- ~~8) のびろ利用定員の変更（現在50名→40名+短期併設10名） ※実施済み~~

- ~~9) ひかりの「地域支援棟」の整備 ※実施済み~~

- 10) グループホームの移設及び増設

グループホームは、老朽化していることもあり、新たな建物の建設ないし取得（賃貸を含む）する。また今後、ひかりの学園の日中利用者及びうぐいす園利用者のニーズに合わせて、日中支援サービス型を含む新たなグループホームの設置も視野に入れていく。

- ~~11) 袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み~~

- ~~12) たのしみ中高生の放課後デイ実施 ※実施済み~~

放課後等デイサービス事業ウサギの利用者で小学校を卒業する年齢の児童が出てきて、中学になっても引き続き利用したいとの声があったため、利用対象者を中高生まで広げる。

高校生まで広げる理由としては、将来的にひかりの学園きずなグループやうぐいす園の利用に繋げていくトータルケア構想の一環に位置付けるためである。

- ~~13) 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新 ※実施済み~~

- 14) 児童発達支援センターの機能拡充

増加する発達障害への早期療育ニーズに対応して、従来の児童発達支援機能(通所療育)に加え、インテークやアセスメント、アウトリーチを含む専門的相談機能及び機関連携やコンサルタント、施設支援指導事業などの地域支援機能を整備する。具体的には、専門的相談や地域支援を行い得る社会福祉士や言語聴覚士、作業療法士、公認心理師といった専門職を配置する

そのために、平成34年のたのしみ20周年を目途に、袖ヶ浦市からの「袖ヶ浦市療育支援事業」を含めた事業委託もしくは運営費助成による「公立化」を目指す。

- 15) 地域生活支援センターたのしみの再編成→一部実施済み

平成31年度のひかりの地域支援棟竣工に伴い、従来の「地域生活支援センターたのし

み」から相談支援事業所を分離し、単独の事業所として地域支援棟内の専用室に移設し運営を行う。また「地域連携室」を発足し、将来的な展望として、地域生活支援拠点を整備する際の核となることを目指す。

残る障害児通所事業のヒツジとリス・ウサギについては、両者を合わせて「児童発達支援センターよろこび（仮称）」と呼称する。

16) 地域生活支援拠点の整備

「地域生活支援センターたのしみ」内の「地域連携室」を核に、地域生活支援拠点事業として、国の求める次の5つの機能について、地域の実情に応じた整備を行う。

- ① 相談
- ② 緊急時の受け入れ・対応
- ③ 体験の機会・場
- ④ 専門的人材の確保・養成
- ⑤ 地域の体制づくり

17) ひかりの学園短期入所の定員拡大 ※実施済み

18) のびろ学園短期入所棟の整備

ひかりの学園短期入所枠の拡大に伴い、のびろ学園短期入所利用者の属性を原則として児童に絞っていく。それによって、知的に軽度な発達障害児等を含めた多様な短期入所ニーズへ柔軟に対応すべく、小舎の専用棟を整備する。

[年次行動計画一覧]

年次	行 動 計 画	備考
平成25年度	● 「はやて棟」の用途変更	
平成26年度	● のびろ大規模修繕	←単年度ではなく継続 ←単年度ではなく継続 ※ひかりの30周年事業
	③ のびろ支援員の研修	
	⑥ ひかりの支援員の研修	
平成27年度	⑦ 「児童発達支援センター」の整備	
平成28年度	⑪ 袖ヶ浦市福祉作業所の受託	
平成29年度	⑧ のびろ利用定員の変更 ⑫ たのしみ中高生の放課後デイ実施	※のびろ生活介護廃止 ※法人50周年事業
平成30年度	● ひかりの本体（そだて）改修、増築 ⑨ ひかりの「地域支援棟」の整備	※のびろ40周年事業 →保留
平成31年度	● ひかりの利用者グループ再編 ⑭ ひかりの学園短期入所の定員拡大 ⑮ 地域生活支援センターたのしみの再編成	
平成32年度	⑬ 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新 ⑯ 地域生活支援拠点の整備	
平成33年度	⑩ グループホームの移設または増設	
平成34年度	⑭ 児童発達支援センターの機能拡充	※たのしみ20周年事業
平成35年度	⑱ のびろ学園短期入所棟の整備	

別紙1 (拠点用事業報告関係)

2019年度 年間行事等実施状況

項目 月	行 事		職員研修		職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4 月	10	ひかりの父母会 (子研)	8	キャリアパス説明会	8	運営会	16	ヒツジ避難訓練	16	労働衛生委員会		
	11	きずな父母会			11	環境整備打合せ	17	ヒツジ消火訓練				
					19	厨房会議	25	のびろひかりの消火訓練				
					25	連打合せ	25	のびろひかりの避難訓練				
5 月	10	新人交流会	9	エピソード記述研究会	7	運営会	14	ヒツジ避難訓練	22	労働衛生委員会	16	規程整備委員会
			10	新人研修	9	環境整備打合せ	20	ヒツジ消火訓練	28	人権擁護委員会		
			14	全体研修	10	厨房会議	23	のびろひかりの消火訓練				
							30	のびろひかりの避難訓練				
6 月	6	きずな外出	22	新任職員フォローアップ研修	7	厨房会議	12	ヒツジ避難訓練	18	労働衛生委員会		
	13	ひかりの父母会			13	運営会	12	のびろひかりの消火訓練				
	13	のびろ保護者会			20	環境整備打合せ	20	ヒツジ消火訓練				
					27	連打合せ	27	のびろひかりの避難訓練				
7 月	5	うぐいす保護者会	19	ブール講習会	4	運営会	10	ヒツジ避難訓練	9	労働衛生委員会	11	規程整備委員会
	19	夏祭り			11	環境整備打合せ	12	のびろひかりの消火訓練				
	20	新棟お披露目会			12	厨房会議	20	ヒツジ消火訓練				
	30	めじろ外出			25	連打合せ	25	のびろひかりの避難訓練				
8 月	1	すずめ外出	6	エピソード記述研究会	8	環境整備打合せ	22	総合避難訓練	22	労働衛生委員会		
	8	すずめ外出	17	夏季療育合宿 (17～19)	9	厨房会議	27	ヒツジ消火訓練				
	9	めじろ外出			20	運営会	28	のびろひかりの消火訓練				
	16	めじろ花火大会			27	連打合せ						
	23	めじろ外出										
	24	ヒツジ夕涼み会										
	27	すずめ外出										
	30	のびろバーベキュー										
9 月	29	音楽療法			5	運営会	11	ヒツジ避難訓練	19	労働衛生委員会	18	規程整備委員会
					19	連打合せ	26	ヒツジ消火訓練	24	生活習慣病予防健診 (24～26)		
					20	厨房会議	26	のびろひかりの避難訓練				
							30	のびろひかりの消火訓練				

	行 事		職員研修		職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
10月	4 14 25 27	秋を楽しむ会 嬉泉ふれあい祭り こころバスハイク たのしみ行事	16	エピソード記述研修	3 11	チューター会議 運営会 環境整備 厨房会議	11 31	総合避難訓練 消化訓練	11 16	人権擁護委員会 労働安全衛生委員会	12 16	事故防止委員会 福利厚生委員会 規定整備委員会
11月	5 15 16 20 21 30	こころ1泊旅行 のびろ父母会 きずな1日外出 ひかりの父母会 GH21～23日旅行 たのしみ遠足	27 21	ケース研究発表会	1 8 27	運営会 環境整備 ひまわり会議 厨房会議	8 30 21 29	ヒツジ避難訓練 消化訓練 ひかりの夜間避難訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)	15 28	労働安全衛生委員会 内部統制委員会		
12月	10 14	こころ外出 きずな父母会 GH忘年会	13 18	ケース研究発表会 エピソード記述研修	13	環境整備	13 25 27	ヒツジ避難訓練 消化訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)			20	事故防止委員会
1月	4 7 24	GH外出 餅つき ひかりの学園新年会	20	職員全体研修	10 22	運営会 環境整備 運営会	17 28 31	ヒツジ避難訓練 消化訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)	10 18 23	人権擁護委員会 労働安全衛生委員会	15	事故防止委員会
2月	18	すずめ外出	21	臨時全全体会	8 25	運営会 運営会	7 8	ヒツジ避難訓練 消化訓練	5 14 22	夜勤者対象健康診断 人権擁護委員会 労働安全衛生委員会	18 21	決第三者委員懇談会 規定整備委員会
3月	3 8 12 14 15 16 19 20 31	嬉泉祭りバザー こころ外出 ひかりの父母会 きずな父母会 こころ1日外出 のびろ保護者会 きずな1日外出 巣立ちを祝う会 こころ1日外出 うぐいす園バスハイク 新人歓迎会			12 15	運営会 ひまわり会議 厨房会議	9 12 15	ウサギ避難訓練 消化訓練 総合避難訓練	20	労働安全衛生委員会		情報セキュリティ委員会

事業拠点組織図(嬉泉福祉交流センター[袖ヶ浦])

